

歴史館探検シート 3

学校名 _____

たいらのまさかど

平将門コース

学年・名前 _____

旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 **平安時代 鎌倉時代** 室町時代 江戸時代 明治・大正・昭和

平安時代になると、都では藤原氏が強い力をもつようになりました。天皇の子孫でも力の弱い一族の中には、都を離れて地方に住む人々もあらわれました。そのような中に、桓武天皇の子孫で、現在の茨城県や千葉県に移り住んだ人々がありました。この一族は平姓を名のり、常陸国や下総国で力を強めていきました。なかでも、現在の常総市や坂東市を支配した平将門は、一族の争いからやがて常陸国の役所をおそいさらに上野国（現在の群馬県）や下野国（現在の栃木県）の役所をおそって役人を追い出しました。将門の反乱を貴族はしずめることができず、他の武士によって将門をたおすことができました。これは、武士の力を示す結果となり、各地に武士の集団がつけられるようになりました。やがて、武士のとうりょうとして征夷大將軍になったのは、源頼朝でした。ここでは、平安時代から鎌倉時代にかけて、武士が活躍した世の中の様子を見ていきます。

- 問題1 平将門が力を強めることができたのは、（ 鉄 ）を生産することができたことと、牧で馬を育てることができたからといわれています。
※平将門のビデオをみて考えましょう。



- 問題2 平将門をまつる神社が坂東市（旧岩井市）にあります。神社の名前を書きましょう。（ 国王 神社 ）

- 問題3 平氏の一族の中には、常陸国の役人となった人々がありました。この一族は、つくば市北条を中心に勢力を強め、右のような寝殿造の形をしたお寺（ 日向 廃寺 ）を建てました。
ひゅうが



調査でわかった建物跡

右の建物から想像した図

- 問題3 豪族の屋敷（イラスト）を見ましょう。村の中央に、家のまわりを堀やさくでかこんだ屋敷があります。この頃の豪族は、けらいに武器をもたせて屋敷に住まわせていました。このような屋敷を館といいます。豪族は、自分の土地をまもるために、けらいに弓矢や刀をもたせました。これが（ 武士 ）の発生です。



- 問題4 平安時代のおわり頃、お経を土の中に埋める信仰がひろまりました。茨城県では、筑波山の南にある土浦市東城寺の山の中にお経が埋められました。このようなお経を埋めた場所を（ 経塚 ）といいます。このなかには、お経を入れた銅製の経筒や、銅製の鏡がおさめられました。



平安時代の終わり頃、平氏と同じように武士のリーダーとなったのが源氏です。源氏の中でも源頼朝は、同じ源氏の一族をたおし、都で勢力をもっていた平氏を滅ぼして征夷大將軍となりました。頼朝は平氏のように都には住まず、鎌倉で政治を行うことにしました。この政府を鎌倉幕府といい、この時代を鎌倉時代といいます。しかし、頼朝が政治をはじめた頃、西日本ではまだ天皇の力が強く、頼朝の力は全国にまで及びませんでした。武士の力が全国におよぶようになったのは、北条氏が政治の実権をにぎってからです。



頼朝は武士による政府をめざしたから京都に行けなかったんだね。

問題6 源頼朝は平氏をたおすことを全国の源氏に命じますが、同じ源氏の一族のなかには茨城県北東部を支配していた（佐竹）氏のように、平氏に味方する一族もいました。そこで頼朝は平氏をたおす前に、常陸太田市の金砂城をこうげきするため、みずから国府の置かれていた石岡市にやって来ました。この戦いで頼朝は勝ち、常陸の豪族は頼朝にしたがうようになりました。



問題7 つくば市小田にある三村山極楽寺は、小田氏が造営した寺院です。この寺院にまねかれた忍性という僧は、こまった人々を助けたり、橋をかけたりして社会事業に力をつくしました。三村山極楽寺には、写真左の（五輪塔）が残されています。



問題8 浄土真宗を開いた写真右の（親鸞・しんらん）は、稲田郷（現在の笠間市稲田）を中心に、約20年間もすごしていました。



源頼朝がなくなると源氏は三代でほろび、その後は北条氏が政治の実権をにぎりました。鎌倉時代の終わり頃になると、写真右の地図のように、茨城県の多くの土地を北条氏が支配するようになりました。しだいに北条氏に対する不満が各地でおこり、ついに後醍醐天皇を中心に、足利尊氏らの活躍で北条氏をたおしました。

しかし、鎌倉幕府がたおれた後、後醍醐天皇と足利尊氏は対立し、南朝と北朝という2つの朝廷ができました。この期間を南北朝時代といい、茨城県内でも南朝方と北朝方に分かれて戦いがおこりました。



問題11 南北朝が対立すると、茨城でも南朝と北朝にわかれて戦いが行われました。この時の南朝方の城をビデオでたしかめ、二つ選びましょう。南朝の城は（小田城）と（大宝城）です。

関城 神宮寺城 などでもOK

問題12 南北朝のあらいそいは、北朝方の足利尊氏が勝利しました。尊氏は京都の室町という所で政治を行ったので、この政府を室町幕府といい、この時代を室町時代といいます。室町時代になると、茨城県北東部を支配していた（佐竹氏）がしだいに力を強めてきました。

